

和氣早苗

WAKE Sanae

教授



[現在の専門分野]

ヒューマンインタフェース

[現在の研究テーマ]

ヒューマンインタフェースにおける音響利用

[学 位] 博士 (工学) (大阪大学)

[所属学会] 情報処理学会、電子情報通信学会、ヒューマンインタフェース学会、日本サウンドスケープ協会、日本感性工学会、日本音響学会

■ 主要研究実績

(著書) 製品音の快音設計 (分担執筆) S & T出版	2012年
(論文) ヒューマンインタフェースとしての報知音設計	
日本デザイン学会論文誌デザイン学研究	2003年
高齢者向けメールソフト 電子情報通信学会技術報告	2004年
高齢者向けメールソフト「吟メール」の開発と高齢者のメール利用	
ヒューマンインタフェース学会誌	2007年
Exchanging Graphical Emails Among Elderly People and Kindergarten Children	
(共著) HCII 2007	2007年
対話型遺伝的アルゴリズムを用いたサイン音系列生成システム (共著)	
ヒューマンインタフェース学会論文誌	2008年
ピッチ差を利用するサイン音の印象評価	
～インタフェースサウンドのデザインガイドラインへ向けて～	
ヒューマンインタフェース学会研究報告集	2009年
サイン音の設計論—Sound User Interface におけるサイン音の分類とデザインシステム制御情報学会誌	2011年
(講演) ヒューマンインタフェースとしてのサイン音とそのデザイン	
音響学会 (招待講演)	2012年

■ 研究・社会活動等

ヒューマンインタフェース学会 学会誌編集委員	2003年～2011年
NPO法人 Kyoto C to G. ac 理事長	2004年～2007年
ヒューマンインタフェース学会 評議委員	2006年～
NPO法人プロデューステクノロジー開発センター 理事	2006年～2007年
ヒューマンインタフェース学会 理事	2010年～2011年

■ 学内外研究費による主要研究活動歴

科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 高齢者向け情報機器インタフェース	2003年～2004年
三菱電機 奨学寄付金	2005年
日本油脂 奨学寄付金	2005年～2007年
日産自動車 共同研究	2006年～2011年
三菱電機 共同研究 サイン音研究	2006年
マイクロソフト 奨学寄付金 (同志社ローム記念館プロジェクト)	2006年～2007年

■ 主要な担当授業科目

[大 学] コンピュータ科学、音響処理論、ヒューマンインタフェース論、ソフトウェア概論、情報メディア応用演習など

福祉と音響の側面から情報機器の使いやすさを探究する

携帯電話やパソコンをはじめ、現代の社会において情報機器や電化製品はあふれるほど存在していますが、使いやすさに関しては今後ますます追究すべき点があります。使いやすい情報機器をいかに作るかという問題意識を持って、福祉インタフェース、音響インタフェースについて研究しています。それらを通じて、未来の情報機器と人間のやりとりの方法はどうかを考察しています。

福祉インタフェースの研究成果の一つとして、「吟メール」というソフトを開発しました。これは、タブレットPC (専用のペンで手書き文字を入力できるパソコン) で使用できるソフトであり、主にキーボードやマウスを使ったことのない高齢者層をターゲットとしています。機能も極限までシンプルにし、まさに「手

紙を書く」感覚で使ってもらえるのが特徴と なっています。

音響インタフェースの研究では、家庭内の情報機器について、音をより効率的に使う研究を行っています。現状では、家電に使われるサイン音 (報知音) は単調な電子音が主ですが、音のバリエーションを豊かにすることで、よりわかりやすく心地よい使用感が得られるのではないかと考えています。



手書きのメール画面



受信メールの表示